

中部財界 50

連結売上高3000億円を視野に入れた東建コーポレーション
徹底検証! 名古屋に外国人観光客急増の理由
パルコ西側土地再開発「詐欺事件」舞台裏
鶏卵価格突然の急騰「その理由と原因」/「アルメック」に社名変更した星河金属



www.mighty-corp.co.jp



ゼロ・バックラッシュ カップリング・クラッチ

株式会社 **マイティ**



社長対談

アルメツク

星河年男社長に聞く

星河 年男代表取締役社長

50周年を前に社名変更で 新たなステージの第一歩を踏み出す

名古屋地区有力ヤードデ
ィーラーの星河金属（本社
／愛知県豊明市前後町三ツ
谷一三六一）は、二〇〇八
年八月一日付で社名を「ア
ルメツク」に変更した。来
年迎える創業五〇周年を節
目にパブリックカンパニー
への飛躍をめざすもので、
時代のニーズに深く対応し
たりサイクル事業の業容拡
大・充実を図る方針だ。星
河社長に社名変更、展望な
どを聞いた。

——社名変更の理由は。

星河 リサイクル企業の果
たすべき役割が増えている中
で、当社がめざす事業形態や
理念が従来の社名に収まりき
らなくなってきた。特に会社
の活力たる人材との出会いを
考えると、「何屋さん何だろ
う」と思われても構わない。
まずはイメージの膨らむ、夢
を託してもらえる社名が必要
だと感じた。この五〇年を振
り返る時、「これまでやって

きたから、その繰り返しで良
い」という現状維持的な発想
を捨て、志を新たに原点回帰
する気持ちだ。来年は五〇周
年の記念式典を行う予定で、
社史も編纂している。

——新社名の意味は。

星河 アルメツクは我々が
大切にしているキーワードで
構成した。頭文字のAには、
経営方針のお客様第一主義、
社長としての社員第一主義を
込めた「A-1」（すべて・皆）
を。Rはコア事業である「R

ecycle」。Mは「Ma
terial（原料・素材）」。
Eは「Environment
tal preservation
ion（環境保全）」。Cは「C
ontribution（寄
与・貢献）」を意味している。

——事業内容について。

星河 鉄・非鉄・プラス
チックのリサイクルを手掛け
る。大型設備による加工処理
手作業による品種別の選別処
理、ガス溶断加工処理などを
行い、鉄鋼メーカー向けを中

心に先別のニーズに合わせて
出荷している。他方、工場環
境や危険作業などに関し週一
回のミーティングで対策を講
じ、環境保全と改善、安全意
識の深化に努めながら製品品
質の向上に取り組んでいる。
年商は一〇〇億円超と、五年
前の約五倍に伸び、スクラッ
プの年間扱い量も一六万トン
に増えた。

——改革に向けた取り組み
は。

星河 スクラップ価格は
今や七万円／tの時代に突
入し、業界は活性化してい
るが、人口の減少や自動車
産業の停滞などを背景に下
り坂は必ずやって来る。そ
の時に顧客から喜ばれ、必
要とされる企業であるため
には組織的な動きが必須に
なる。このため制度の構築
と人材教育に注力しており、
制度面では等級ごとの役割
を明確にする一方、モチベ
ーションを上げる目的で人
事制度を整備し、併せて賞

与・退職金制度の改革を行っ
た。教育面では、部門別に自
身の存在価値を高める研修を
実施し、年初には研修時の社
員の意見をまとめたミッショ
ンブックレットを発行した。
これは当社の行動基軸となっ
ており、全社員が携帯し、朝
礼で唱和している。

——どのような企業をめざ
すか。

星河 会社経営の原点を追
求すれば、会社の存在意義に
行き着く。そこで当社は「活
力再生工場—本来持つ活力を
息吹かせる場所」となること
をビジョンに掲げた。あらゆる
資源の本来の価値をリサイ
クルによって再生するととも
に、我々の中にある活力も呼
び起こし、お客様や地域、環
境保全に貢献したい。社名変
更を新たなステージへの第一
歩に、来年四月には七名の新
卒入社で社内新しい風が吹
く。社員全員で成長しながら、
より大きな活力を提供できる
企業へと邁進していきたい。



本社外観（撮影時は社名変更前）